

Brief uit Namibië

～ナミビアからのお手紙～

ナミビア通信 第1号
2025年5月
JICA 海外協力隊 2024-2 次隊
環境教育 星野みなみ

自己紹介

はじめまして！2025年4月からJICA海外協力隊員としてナミビアに派遣されております、星野みなみです。豊橋生まれ豊橋育ちなので、初めての一人暮らしがナミビアになります(笑) 豊橋名物ブラックサンダーをスーツケースに詰めれるだけ詰めて来たので、辛い時はブラックサンダーを食べて頑張ります⚡



これから豊橋のみなさんにナミビアのことやナミビアでの生活、活動についてたくさんお伝えしていきたいと思います。よろしくお願いします😊

ナミビアについて



■位置・気候



ナミビアはアフリカ大陸南部、大西洋側に位置しています🌐 国土は日本の2.2倍です。南半球なので、気候は北半球の日本と真逆です。4月～10月が乾季で冬、11月～3月が雨季で夏となります。南部の冬は5℃以下、北部の夏は40℃にまでなります。今は5月で冬になり、私の住むオウチョ(北部)は朝晩は10℃と寒いですが、日中は25℃以上まで上がり、1日の中に冬から夏まで詰まっている感じです。アフリカといえば緑の草原がどこまでも広がるサバンナを想像するかもしれませんが、ナミビアは国土のほとんどが砂漠なので、とても乾燥しています🔥 (地図及び国旗の写真はウィキペディアより引用)

■人口・民族

ナミビアの人口は約302万人(2023年)。人口密度は世界で2番目に低いです。そんなナミビアの民族は、オバンゴ族、カバンゴ族、ヘレロ族、ダマラ族、ナマ族、ヒンバ族、サン族、アフリカーナーやドイツ系白人など、さまざまな民族で構成されています。民族ごと文化に特徴があり、世界で最も美しい民族の一つであるヒンバ族は聞いたことある人も多いと思います。



私の家の近くにお土産を売りに来ているヒンバ族の女性

■言語

公用語は英語ですが、多くの民族からなるナミビアは言語も多く、オバンゴ語、カバンゴ語、ダマラ語、ヘレロ語などがあります。特にダマラ語は私の住む地域(オウチョ)でよく話されているので、挨拶くらいは覚えたいのですが、クリック音(舌を鳴らす音)だけで4種類もあり、日本人の私には難しすぎて真似すらできません。国の中でもさまざまな言語があるナミビアの人は、違う言語の民族と会話する時にはアフリカーンスで話すことが多いです。この通信のタイトル、「Brief uit Namibië」はアフリカーンスで「ナミビアからの手紙」という意味です。

■歴史

1884年 ドイツの植民地にされ「ドイツ領南西アフリカ」に。

1904年～1908年 争いが起こり、ヘレロ族とナマ族が大量虐殺されてしまう。

1915年 南アフリカ軍がドイツ軍を追い出し、南アフリカの植民地に。

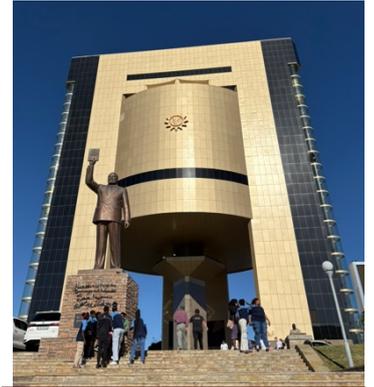
1948年 アパルトヘイト(白人による人種隔離政策)がナミビアにも導入される。

1970年代 SWAPO(南西アフリカ人民機構)を中心に独立運動が活発化。

国連は SWAPO をナミビアの代表と認める。

1990年3月21日 ナミビア共和国として独立。

多くのアフリカの国が独立した1960年「アフリカの年」に南アフリカの植民地になっていたナミビアは、独立してまだ35年です。アパルトヘイトの影響も未だに大きく残っています。



首都にある独立博物館
ナミビア独立までの出来事を知ることができます。

■食べ物



主食はパップと呼ばれるトウモロコシやマハングというヒエの粉をお湯に混ぜて炊いたものです。多くのアフリカの国でこれが主食になっていますが、国や地域によって名前が違い、ケニアやタンザニアではウガリ、モザンビークやマラウイではシマと呼ばれています。食感も少し違い、ケニアのウガリよりナミビアのパップの方がモチモチしています。日本のお米みたいにほんのり甘いです。右手でにぎりにぎ潰して、おかずと合わせて食べます。にぎりにぎするとより美味しくなります！

左の写真右側はおかずのモパネワーム🐛です。乾燥した幼虫を水で戻して油で揚げます。初めて食べた時は一匹が限界だったのですが、



だんだん慣れてきて、何故かローカルレストランに行くたびに注文してしまっています(笑)ビールに合いそうです🍺モパネワームの左側はオバンボチキン。スパイスと一緒に煮込み、足まで頂きます🐔左の写真はカッパーナと呼ばれる牛肉です。右の写真のように目の前で焼いてくれます🍖



この量で N\$40(約320円)。どの部位が入るかはランダムです。カッパーナスパイスと呼ばれるスパイスをかけて食べるのもっと美味しいです。他には乾燥させたワイルドスピナッチを煮たものがあります(左下の写真)。



そして生牡蠣も食べられます🍯！日本の物より小ぶりですが、とてもクリーミーでした。

港町にはエビなどの海鮮もあるので、港町を訪れた際はたくさん海鮮を食べたいと思います🍣

最後まで読んでいただきありがとうございます。

次回は首都のウイントフック、そして私が住んでいるオウチョという町について紹介したいと思います😊